

豊中・サンマテオ 姉妹都市提携ニュース2003

Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo

# 姉妹都市提携

The 40th Anniversary of Sister City Affiliation

## 40周年記念号



両市の友好 今後もすくすくと  
豊中市役所前のレッドウッドの木  
(1966年サンマテオ市より寄贈)

豊中・サンマテオ姉妹都市協会  
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo



姉妹都市提携40周年をお祝いして

豊中サンマテオ姉妹都市協会 会長  
三河 寛治

サンマテオ市と豊中市の姉妹都市提携 40周年を心からお喜び申し上げます。

1963年に、姉妹都市提携調印が行われて以来、両市では、定期的な少年野球チームの交流試合や、高校生の親善訪問をはじめとする、多彩な交流が展開されてきました。この40年の間、様々な文化活動・スポーツ交流にご尽力くださった、両市の関係者の皆さんと、多くの市民の皆さんに心より感謝申し上げます。

40年といえば、私たちの人生において、最も充実した時期です。「継続は力なり」ということわざがあるとおり、この40周年記念の年を新たな節目とし、今後も一層、協会活動の充実をはかり、両市の相互理解と友好関係の促進に努力していきたいと思っております。そして、両市がこれまでに培ってきた、友好の絆が絶えることなく、ますます強いものになっていくことを念願しております。

最後に、サンマテオ市と豊中市が今後も発展していくことを願って、お祝いの言葉とさせていただきます。



Congratulations on the 40th anniversary of the sister city affiliation

Kanji Mikawa  
President, Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

I am especially pleased to send my congratulations on the 40th anniversary of the affiliation between Toyonaka and San Mateo.

Both cities have developed a variety of exchanges such as friendly matches of boys baseball teams and goodwill visits of high school students since we established our sister city affiliation in 1963. I would like to offer my heartfelt appreciation to the members of the sister city organizations and citizens of both cities who have worked so hard to make these successful efforts for cultural activities and sports exchanges for the past 40 years.

Speaking of 40 years, it is the most fulfilling period of our life. There is a saying in Japanese that "Continuation is power" Now, I would like to further enhance our activities and make even more efforts to promote mutual understanding and friendship between our two cities. I hope that the friendship that our two cities have fostered grows stronger forever.

In closing, I wish for the continuing development of our two cities with our best wishes.



姉妹都市提携40周年を迎えて

豊中市長  
一色 貞輝

1963年に豊中市とサンマテオ市が姉妹都市提携を結んで、今年で40年を迎えます。

この間、両市の姉妹都市協会の皆さんをはじめ、多くの市民の皆さんのご熱意とご努力によって、文化やスポーツなど幅広い分野で交流を続けてこられました。両市並びに両市民の友好の輪が拡がり、相互の信頼の絆を深めることができましたことに心から感謝と敬意を表します。

市民主体の国際交流を基本姿勢としております本市といたしましては、財団法人とよなか国際交流協会や市民団体と協働し、異文化との交流を通じて文化・生活の充実、国際感覚の涵養などに努め、ひいては本市の活性化やアイデンティティーの確立をはかっていきたいと思っております。

今後とも、両市の友好交流を発展させ、日米親善と世界平和に貢献していきたいと心から念願しております。



In honor of the 40th anniversary of sister city affiliation

Sadateru Isshiki  
Mayor, Toyonaka City

Toyonaka City and San Mateo City mark the 40th anniversary of the sister city affiliation this year. Thanks to enthusiasm and efforts by the Sister City Association and many citizens of both cities, we have continued exchange in a variety of areas such as culture and sports. I show my sincere appreciation and respect for their efforts to extend friendship and develop bond of trust.

Toyonaka City makes the citizen-driven international exchange our basic attitude. We make further efforts to enrich culture and life and foster an international way of thinking through the cross-cultural exchange in cooperation with the Toyonaka Association of Intercultural Activities and Communication and other civic groups in order to vitalize our city and establish our identity.

I hope to continue to contribute to friendship between Japan and the United States and world peace through the development of friendly exchange between Toyonaka and San Mateo.



姉妹都市提携40周年によせて

豊中市議会議長

平田 明善

豊中・サンマテオ姉妹都市提携40周年誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。昭和38年10月に、両市の発展と相互交歓を図るため、姉妹都市提携が結ばれて以来、40年の歳月が経過いたしました。

この間両市におきましては姉妹都市協会を中心に交換学生をはじめ、少年野球チームの相互訪問、児童生徒の絵画の交流など、スポーツや文化の幅広い分野で友好と親善の和を深め、多大な成果を上げてこられました。

これもひとえに、歴代の姉妹都市協会の役員の皆様並びに会員の皆さん方のご尽力の賜物であり、心から敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

国際化や情報化の進展に伴い、国と国との関係はあらゆる意味でより密接なものとなってきております。このようななか、両市の相互訪問や市民の交流はお互いを理解する上で誠に意義深いものであり、またこうした国際親善は世界平和にも大いに貢献するものであると確信いたしております。

豊中市議会といたしましても、市理事者と連携を図りながら、両市のより良い友好関係の進展にさらに努力してまいり所存でございます。

最後に豊中・サンマテオ姉妹都市協会のますますのご発展と、皆さん方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



In commemoration of the 40th anniversary of sister city affiliation

Akiyoshi Hirata

Chairman, Toyonaka City Assembly

You have my sincere congratulations on the 40th anniversary of the sister city affiliation between Toyonaka and San Mateo. 40 years have passed since we established a sister city relationship on October 1963 to promote development of both cities and exchange between both cities.

Both cities have strengthened friendship and kindness in various fields of sports and culture, such as exchange students, mutual visit of boys baseball teams, exchange of paintings by pupils.

I express my deepest respect and gratitude to the officials and the members of the Sister City Association to their great efforts.

Relations between nations grow closer in many fields with developments of internationalization and informatization. I am sure that exchanges between people of both cities is very significant to understand each other and that such an international friendship contributes a great deal to world peace.

Toyonaka City Assembly will do our best to promote further friendship between both our cities in cooperation with our municipal officials.

In closing, I wish to express my hope for the further progress of the Sister City Association of Toyonaka-San Mateo, and the good health and happiness of their citizens.



CITIZENS OF TOYONAKA

Claire Mack  
Mayor, City of San Mateo

This year marks the 40th Anniversary of the beginning of the relationship between the Cities of San Mateo and Toyonaka.

We regret that due to recent tragic events in the world and concern for the safety of travelers, we are unable to visit Toyonaka during this commemorative year.

Because of the strong bond of trust and friendship that has grown between our two cities, we are confident we will be able to celebrate together in our hearts and mind.

On behalf of the San Mateo City Council and the residents of our City, we send our best wishes for continued friendship between our cities and promotion of goodwill and world peace.



豊中市民の皆さんへ

サンマテオ市長

クレーター・マック

今年はサンマテオ市と豊中市が姉妹都市交流を始めて40周年を迎えます。

最近世界で起こった悲惨な事件や、今年豊中市を訪問することになっていました親善訪問団の安全に対する懸念から、この記念すべき年に豊中市を訪問できなくなったことを、まことに残念に思います。

サンマテオ市と豊中市は長い間、信頼と友好の絆を強め、培ってきました。そのおかげで、私たちは心からともにその記念すべき年をお祝いすることができることを確信しています。

私たちサンマテオ市議会をはじめとするサンマテオ市関係者やサンマテオ市民を代表して、サンマテオ市と豊中市が、今後もさらなる両市の友好関係を深め、国際親善を推進し、世界平和を促進していくことをお祈りします。

# 交流のあゆみ

～THE HISTORY OF FRIENDSHIP FOR 40 YEARS～

1963年10月8日に豊中市とサンマテオ市が姉妹都市提携をしてから40年間、両市の間ではさまざまな交流がありました。人と人だけでなく、贈り物や日米両国の文化など、いろいろな形で、太平洋を行き来してきました。多くの人たちのご熱意とご協力があって、友好関係が築かれてきました。その交流の内容も多様で、全てを紹介できませんが、写真とともに交流の歴史を見ていただきたいと思います。

## 人と人との交流 PEOPLE TO PEOPLE EXCHANGE

40年間にわたって続けられてきた豊中市とサンマテオ市の姉妹都市交流は、やはり人と人との交流があってこそだと思います。市民や姉妹都市協会、市の関係者など、さまざまな交流がありました。その目的も行政や学校間の交流、福祉やその他興味や関心を共通とする者どうしの交流など、様々な形で行われてきました。ほんの一部ですが、特に、両市の市民が主体となった交流を紹介します。

1963.10 サンマテオ市長アルバート・J・ウィスナー氏他7人を迎え、豊中市役所で姉妹都市提携の調印式。



1973.10 提携10周年記念親善訪問団が来豊。

1975.4 豊中手話サークル役員内谷泰子さん、サンマテオ市の福祉施設視察、福祉関係ボランティアと交歓。

1977.6 豊中市内の3ロータリークラブ、サンマテオ市訪問。

1979.8 豊中の女性グループ10人、サンマテオ市訪問。

1982.1 "The Times Peninsula" 編集委員トーマス・パウエル氏、豊中市を取材するために訪問、2月6日の同紙で豊中市が紹介される。

1983.7 提携20周年を記念し親善訪問団80人がサンマテオ市訪問。

1988.10 姉妹都市提携25周年記念式典を豊中市で開催。サンマテオ市長以下34人が来豊。

1989.9 豊中青年会議所のメンバー、サンマテオ市を訪問。

1964.10 豊中・サンマテオ姉妹都市協会設立。

1966.10 豊中市制30周年記念式典に、メリー・アンダーソン会長他2人が参加。

1967.2 豊和信用組合企画の姉妹都市訪問団一行13人、サンマテオ市訪問。

1971.10 豊中市制35周年記念親善訪問団43人、サンマテオ市訪問。



1993.8 姉妹都市協会親善訪問団、豊中商工会議所訪問団がサンマテオ市での提携30周年記念式典に参加。



1997 桜井谷地区社会福祉協議会会長中井吉和さん夫妻、サンマテオ市訪問。高齢者施設等を見学。

1998.5 洋上大学で来日した元サンマテオ姉妹都市協会会長トーマス・ブレディさんの娘さんナンシーさん、豊中市を表敬訪問。



1999.8 豊中・サンマテオ姉妹都市協会設立35周年を記念して、サンマテオ市長、サンマテオ市親善訪問団が来豊。



2000.11 豊中市の市民グループ「SAとよなか」を中心とした20人がサンマテオ市を訪問。主に老人福祉施設などを視察しながら、サンマテオ市の熟年市民と交流。



## さまざまな贈り物

豊中市とサンマテオ市は人と人との交流だけでなく、日米両国の名産品や図書、絵画など、友好の証としてさまざまなプレゼントを交換してきました。それらのプレゼントを通じて、市民に姉妹都市交流をアピールし、双方の文化を伝えることに貢献してきました。このような贈り物は交流の様子を後世に伝えるものとして根付いています。



エル・カミノ・リールベル  
1964年サンマテオ市から寄贈、豊中市役所前に設置。



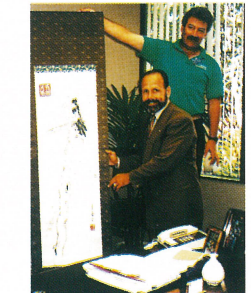
レッドウッドの木  
1966年豊中市制30周年を記念して、サンマテオ市から寄贈、豊中市役所前に植樹。



五重の石灯籠  
1966年サンマテオ市日本庭園開園を記念して、豊中市から寄贈。



ばらの花  
1989年 姉妹都市提携25周年を記念して、サンマテオ市から寄贈、二ノ切公園に植樹。



日本画の掛軸  
1994年サンマテオ市制100周年を記念して、豊中市から寄贈。

## 文化・スポーツ交流

### CULTURAL AND SPORTS EXCHANGE

言葉の違いを越えて身近に国際交流を体験できるものとして、文化やスポーツの交流があります。今まで、伝統芸能の紹介やジャズダンスの公演、バレーボールや少年野球の親善試合が行われてきました。特に、1979年から始まった少年野球の交流は現在でも定期的に続けられています。当時は、握手を求められて、恥ずかしがって手を差し出さない子もいましたが、現在の子供たちは言葉の壁を気にせずに、積極的に交流の輪に加わるようになってきました。

1964.10 豊中市展にサンマテオ市民の絵画21点を友情出展。

1967.3 菊楽いとさん他3人サンマテオ市訪問、琴の親善演奏会開く。



1967.5 サンマテオ市で凧揚げ祭りが開かれ、豊中市からも駿河風を贈る。

1970.7 カリフォルニア州住友銀行サンマテオ支店で合同児童図画展が開催され、豊中市から児童図画116点が紹介される。

1970.10 サンマテオ市で姉妹都市週間が開催される。サンマテオ盆栽クラブ19名来豊。とよなか盆栽クラブと交歓して盆栽展を観賞。

1971.1 住友銀行豊中支店でサンマテオ市小中学生の図画作品46点を展示。

1971.7 ベレスフォード小学校女子バレーボールチーム16人が来豊。市内小、中学校のチームと親善試合。



1975.5 サンマテオ市セントラルパークレクリエーションセンターでサンマテオ姉妹都市協会主催で「豊中の夕べ」が開催され、盆栽展、生花展、日本舞踊等で日本を紹介。

1979.7 豊中市少年野球チーム桑村団長以下31人がサンマテオ市親善訪問、初の親善試合を行う。



1981.8 サンマテオ市少年野球チーム40人が来豊。

1983.7 豊中市少年野球チームが提携20周年事業としてサンマテオ市親善訪問。

1985.8 ホフマン市長夫妻とともにサンマテオ市中学生野球チームが来豊。

1986.7 サンマテオ市ジャズダンスチーム来豊。



1986.11 市制施行50周年記念姉妹都市・兄弟都市児童画展を豊中市役所で開催。



1987.8 豊中市少年野球チーム、サンマテオ市を訪問。

1988.10 提携25周年で来豊したトーマス・マック議員が千里シティーマラソンに出場、完走し千里国際賞を受賞する。



1990.8 トーマス・ブレイディ姉妹都市協会会長とともにサンマテオ市少年野球チーム32人が来豊。

1993.8 姉妹都市提携30周年と合わせ少年野球チームがサンマテオ市訪問。

1994.10 豊中市役所で姉妹都市交流30年の歩み写真展を開催。

1995.8 サンマテオ市少年野球チーム来豊。

1997.8 豊中市少年野球チームサンマテオ市訪問。

1999.8 サンマテオ市少年野球チームが豊中・サンマテオ姉妹都市協会設立35周年記念にあわせて来豊。

2001.8 豊中市少年野球チーム、サンマテオ市訪問。



## 英語弁論大会の開催と

### ENGLISH SPEECH CONTEST & GOODWILL MISSION TO SAN MATEO

## 親善使節の派遣

当協会では次代を担う高校生に国際感覚を身につけてもらおうと、1972年から毎年英語弁論大会を開催し、2003年で31回を迎えました。第11回大会からは優勝者をその夏にサンマテオ市に親善使節として派遣、一週間程度のホームステイのなかで市民交流を深めてもらいました。なお、第14回大会から準優勝者も派遣することになり、現在までに36人がサンマテオ市を訪問しました。

英語弁論大会に対する各高校のご理解も深まり、参加する生徒のレベルも年々高くなっており、英語学習の振興や国際理解の涵養に大きな貢献をしています。

また、過去に親善使節として派遣された皆さんの中には、派遣後も交流を続けている人も多く、地道な交流が将来の姉妹都市交流の発展につながることも期待されます。



1972年11月  
第1回高校生英語弁論大会 入賞者



1994年8月 サンマテオ市制100周年記念パレードに参加する親善使節(第22回大会優勝者)



2001年8月  
サンマテオ市役所前にて(第29回優勝者)



1997年8月  
サンマテオ市長を表敬訪問(第25回優勝者)



2003年1月 第31回高校生英語弁論大会 入賞者

40周年を祝って、1997年夏に親善使節として訪問、その後現在も交流を続けている、第25回英語弁論大会で豊中市長賞を受賞した大谷理栄さんから、その後の交流についてのお話をいただきました。

40周年おめでとうございます。私がサンマテオ市に親善使節として派遣していただいてから、早いもので6年が経ちました。現地のホストシスターであったキャロラインとは、イベントごとにメールを送りあう交流が今でも続いています。サンマテオ市に行き、キャロラインと過ごした短い間ではわからなかった様々な文化の違い、生活様式など、短いメールの中ではありますが教えてもらっています。日本とアメリカでは文化の違いから当然考え方も違うものです。私の節目節目の時期にはキャロラインの考え、意見をアドバイスしていただきました。アドバイスのおかげで、物事を色々な角度から見ることができ、「考え方の幅」を教えてもらいました。そのことによってたくさんのチャンスも生まれました。またキャロラインが少年野球チームに同行し日本に来られた時も再会を喜び、私もまたアメリカに行くときはキャロラインのところに行くことを約束しました。このようなチャンスを与えていただけたのも、親善使節として派遣していただいたからです。多くの人たちがたくさんのチャンスをつかめるように、いつまでもすばらしい姉妹都市の交流が続くことを心から期待しております。



# サンマテオ市とは

## ABOUT SAN MATEO

### 地理



サンマテオ市は、アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア州サンフランシスコ半島の中ほどに位置するサンマテオ郡にある都市で、郡内第2位の規模の都市です。サンフランシスコとサンノゼとの中間にあるサンフランシスコ湾に面した住宅都市で、市域面積は37.81km<sup>2</sup>。市の西側は標高約460mのコースタル山系があり、太平洋側と隔てています。なだらかな丘陵地はすばらしい住宅地を形成しています。サンフランシスコ市へは北方30kmという位置にあり、近くにはサンフランシスコ国際空港があります。

「2000年全米国勢調査」によりますと、サンマテオ市の人口は92,482人です。1900年には1,832人でしたので、100年間で約50倍になりました。

### 歴史

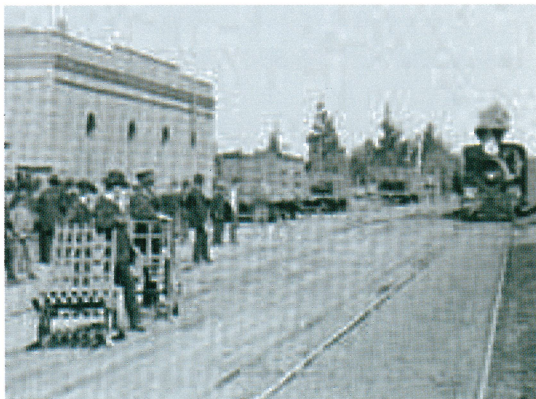
現在のサンマテオ地域に定住したのは先住民で4,000年前にさかのぼります。サンマテオ地域のおだやかな気候や質のいい水郷は生活するには理想の場所であり、18世紀後半にスペイン人がやってくるまで、この地域で最大の村を作っていました。



1776年3月にスペイン人の探検隊が布教の基地となる地を探すためにカリフォルニアに上陸し、サンフランシスコ半島の中ほど、現在のサンマテオ地域で野営しました。その時に、探検隊はその地をスペイン語の「聖マタイ」に由来する「サンマテオ(San Mateo)」と名付けました。当時の探検隊の人々は、未開拓地の山や河川を、聖書の聖人の名前にちなんで名付けていました。



1861年5月にサンマテオを經由してサンフランシスコとサンノゼを結ぶ鉄道の建設が始まり、1863年10月に開通しました。サンマテオ駅を中心に都市開発も始まり、サンフランシスコから人々が土地を求めて集まるようになり、1864年には教会、学校が建設され、1889年には消防団が結成されるなど、都市基盤も整うようになりました。さらに同年、郊外にダムが完成し飲料水の供給が可能になったことで急速な発展を見せるようになりました。1894年9月3日にサンマテオは市制に移行しました。現在はサンフランシスコ近郊の住宅都市として、栄えています。



その後、この地は1822年のメキシコの独立によって、スペイン領からメキシコ領へ移りました。1846年にはネバダ山脈の金鉱発見によるゴールドラッシュの時代が訪れ、多数の移住者が殺到しました。メキシコの統治はこのゴールドラッシュで終わりを告げ、カリフォルニアはアメリカ合衆国に統合されました。

# SAN MATEO



サンマテオ市役所



サンフランシスコ湾を望む



坂の多いサンマテオ



セントラルパーク



日本庭園



コヨーテポイント

## 姉妹都市提携のいきさつと両都市の交流

昭和37年(1962年)夏、サンマテオ市の高校生がY M C Aの交換留学生として日本に滞在中、豊中市に立ち寄り、住宅都市としての町の雰囲気や空港が近くにあることなどの類似点を、当時市会議員をしていた父親に話しました。

サンマテオ市はちょうど日本の都市と姉妹都市提携を希望しており、この提携話は急速に進み、それぞれの議会で承認されました。昭和38年(1963年)10月8日、豊中市役所にウィスナー市長を迎えて調印式が行われました。以来、文化・スポーツなどの交流を通じて友好を深めてきました。

## サンマテオ市の制度について

サンマテオ市は、1922年にサンフランシスコ半島内で最初の都市憲章を持つ市となりました。そのサンマテオ市憲章では、サンマテオ市の市制は「市議会(Council)」と「市政担当官(City Manager)」で構成されます。

市議会は市の方針を決定する議決機関であり、5人の議員で構成されます。任期は4年間で、その5人の議員のうち、1人を市長として毎年12月に選出します。市長の任期は1年間で、市を代表します。市長は市政担当官を1人任命します。市政担当官は行政機関の長として、決定された市の諸施策を執行する権限を与えられ、実務を行います。市議会と市政担当官から独立して、「市法律顧問(City Attorney)」があり、法律に関する問題について、市や市議会に助言します。

議員は毎月第1・第3月曜日に公式会合を開催し、月に一度、市政討論会が開催されています。これらの会合や議事録はすべて市民に公開されており、誰でも参加できるようになっています。

## サンマテオ市の市章

サンマテオ市の市章のデザインは、サンマテオ市が持つ特徴をあらわしています。太陽は栄光と穏やかな気候を、橋はサンマテオ・ハイヤーダブリッジを、サンマテオ市の勤勉さを、水はサンフランシスコ湾に面したサンマテオ市を、ヨットはサンマテオ市でできる色々なレクリエーションを、木はサンマテオ市の美しい通りや自然保護を象徴しています。この市章は24年間にわたってサンマテオ市長と市議を5期勤めたフグ・ワグネ氏が、1964年に作りました。





# 第31回高校生英語弁論大会

THE 31ST ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



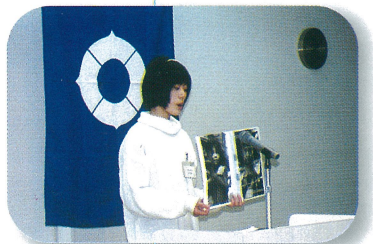
サンマテオ市長賞 大井 早香さん(千里高校1年)



豊中市長賞 荒井 恵さん(北野高校3年)



優秀賞 垣内 綾真さん(桜塚高校2年)



審査員特別賞 包 恰萱さん(千里高校1年)



優秀賞 川崎 悠介さん(豊中高校1年)



優秀賞 植岡 信行さん(豊中高校1年)

平成15年(2002年)1月25日、とよなか国際交流センターイベントホールにて、「第31回高校生英語弁論大会」が開催されました。今大会は前大会で中止した親善使節の派遣を、国際情勢の好転を見込んで再開を決定、参加者の数も7校15人に回復しました。今大会は男性の参加者が6人と例年になく多く、優秀賞も3人が受賞し、全体的に活気にあふれた大会になりました。

豊中市長賞を受賞した北野高校3年の荒井恵さんは「誰もが親善大使」というタイトルで、国際人になるためには外国に行かなくても、多くの海外から日本に来ている人たちと付き合える機会を通じて、自分自身の国に自信を持つことができるかと伝えました。

サンマテオ市長賞の千里高校1年の大井早香さんは「自分の気持ち次第」というタイトルで、自らの辛かった経験が、自分を成長させてくれるものであったことを語りました。

2人は、この8月にサンマテオ市に親善使節として派遣されます。

この英語弁論大会も30回を超え、協会にとっても、学校にとってもすっかり定着した行事になりました。今後も、英語弁論大会が高校生の皆さんの英語の学習の励みになることを期待しています。

## お知らせ

今年は皆様をご存知のように、姉妹都市提携40周年を記念して、サンマテオ市の親善訪問団及び少年野球チームが豊中市を訪問することになっていました。市でも記念行事の準備をしておりましたが、3月のアメリカの対イラク武力行使に伴う国際情勢の急激な変化で、3月18日に豊中市にFAXで派遣中止を伝えてきました。

中止の決定は残念なことですが、サンマテオ市側では1年延期して、来夏の来豊を予定しているそうです。豊中・サンマテオ姉妹都市協会設立40周年となる記念とも合わせた受入れ態勢を検討しています。